

RENEWAL!!

始良市議会だより

あゐあいがさ



9月
定例会
No.44

令和3年11月30日発行



p2 特別インタビュー つながる、つなげる

p4 トピック この人を応援します!

p6 議会はこう考え、判断しました!!

p10 市民目線で12人が市政を質す

p15 傍から見て聴いて

県内最古といわれる田の神舞型像



漆の秋を満喫しながら、史跡巡りで歩く人たち

つながる、つなげる



「生理の貧困」について話してみた

コロナ禍において「生理の貧困」がクローズアップされ、始良市でも取り組むことになりました。

女性問題、貧困、子育て、児童虐待等、多くの課題に繋がる「生理の貧困」について、地域で居場所作りに取り組んでいる種子田璃紗さんにインタビューしてきました。

Q 今回、全国的に見ても鹿児島県の取り組みが遅れているなか、予算がつかしました。そのことについてどのような感想をお持ちですか。

A 正直、いつになるのかなと思っていましたが、やっと予算がついて良かったと思います。

Q 「生理の貧困」という言葉をいつぐらいに聞きましたか。

A だいぶ前ですね。メディアやSNS等で「生理の貧困」というワードが取り上げられ、注目されるようになりました。生理で困っている方って、それだけではなく、他にも大抵のことで困っていらつしやいます。「困っている人に何を届けることができるのか。」と深掘りするきっかけになればいいと思います。

Q これまでの活動の中から感じることはありますか。

A 「生理の貧困」について考えると



種子田 璃紗 (たねだ・りさ)

『みんなの居場所になりますように』と思いを込めたコミュニティカフェ「Kids Cafe & Bar LINK」と「子ども食堂」を運営。困りごとの解決を応援するグループ「あいら未来会議」の副代表。始良市女性活躍推進委員会会長、始良市男女共同参画審議会委員、重富小学校PTA会長



・「親に言えない」なぜ言えないのか？
・「親に言ったけど買ってもらえなかった」なぜそういう家庭状況なのか？
困っている本人のメンタル的なサポートや、親のサポート、取り巻く環境についてなど、様々な話ができる場所を作ることが、必要なんじゃないかなと思います。

Q 始良市に期待することはありますか。

A 「生理の貧困」をきっかけに見えてきたこともありますが、生理用品を配るだけではなく、見えていないことに、目を向けられるような配慮が欲しいと思います。そのためにも、相談支援体制のさらなる充実を図っていただきたいです。

Q 私たち、議員も連携して頑張りたいと思います。最後に、今後の目標を教えてくださいいただけますか。

A 私たちも活動の中から見えてきたことがあります。行政と市民が連携して、情報交換、つまり対話を行い、誰ひとり残さない始良市の実現に向けて、一緒に挑戦していければと思います。

今回のインタビューを通じて、現場で支援活動されているからこそ感じる想いを知ることができました。

私たち議員も想像力を持って、議会活動を行う必要があるということ強く感じました。多くの市民の皆さまと繋がり、気づき学び、支援に繋がっていきます。

6次産業化で更なる商品開発・普及啓発

この人を

応援します！

あいらぼ 代表
東明美さん

「はだか麦」で地域を活性化!!

かつて始良市（旧始良町）は、有数の麦の産地でありましたが、輸入麦の影響で衰退。その後、平成27年に「あい裸（ら）麦生産組合」の方々により復活させ、県内一位の生産を誇る規模まで成長しました。当初、味噌や麦飯などの材料として使用されてきましたが、新たな「はだか麦」の活用として6次産業化を図り、焼酎や焼き菓子などの原料としても使用されるようになりました。

「あいらぼ」代表の東明美さんは、始良市商工会に勤務されていた時、市の特産品があまりに少ないことに気づかされ、何とかできないかと一心発起。はだか麦を使った丸ぼうろのレシピを考案されました。

そのレシピは就労支援事業所「イーサポート」に引き継がれ、始良市のはだか麦を使った「はだか麦ぼうろ」として商品化されています。



はだか麦とは？

大麦の一種で、玄米などに比べ糖質やカルシウムを多く含み、通常の麦より甘いのが特徴です。食物繊維は白米の15倍以上と言われていて、今後、更なる活用が期待される注目の食材です。

6次産業促進事業

補助金決定

東さんは、商工会退職後、調理学校で学びを深め新しいレシピも考案されていますが、既存の設備の状況では、新規商品の開発、品質向上、生産量のアップに対応できないので、機械設備の導入が不可欠と考え、今回の補助金交付申請をされました。

事業計画は5年間で、令和3年度に卓上製粉機やスチームコンベクション、真空包装機、発酵機、充填機などの加工用機材の導入を行い、令和4年度から令和7年度までは販売促進を行う計画です。

補助金は、対象経費の5分の4以内で、令和3年度が125万4千円、令和4年度から令和7年度が各年それぞれ16万円を計画しています。

今後も東さんのように、市内農業者と連携して農林水産物を活用し、6次産業化に取り組み個人又は団体等に対して、継続的な需要の向上を図るために、新商品開発や販路開拓に係る費用の支援を行っていきます。

さっそく広報班でも食べてみました!

大好評!!



おいしい!

甘さ控えめ、上品な味ね

うまかなあどこで買がなつと?

くすくす館で売っちゃっど

ほかに6次産業で、「碧羅の酒」や「すっぽん焼酎」があるよね

全部、ふるさと納税の返礼品になればいいよね

卵がいっぱい使ってある

食物繊維が豊富で、美容と健康にいいねえ



これまでに6次産業で開発された商品



すっぽん麦焼酎

裸麦本来の芳醇な香りが融合して、他にはない個性的な香りが特徴的。



へきら碧羅の酒

どくだみの絞り汁とクズの花を本格焼酎に仕込んだ美味しいリキュール。



はだか麦ぼうろ

しっとりとした生地ですわりとやわらかい食感のついつい手が伸びるスイーツ。



ふわむぎ

台湾カステラのレシピを元に、はだか麦の風味を生かしたお菓子

判断しました!!



補正予算総額 **5億9311万円** 全会一致で可決!

コロナを乗り切るための主な補正予算

◎県の緊急事態宣言で時短営業を実施した飲食店等への協力金

市負担金 **6530万円**



◎プレミアム率60%の商品券 **3億751万円**

- 内容
- ・販売額5,000円で8,000円分の商品券
 - ・1世帯1セット限定。市内郵便局で引換券と交換で購入



議員間討議

- ・商工業者や市民のためになる。進めてもらいたい。
- ・前期のプレミアム商品券事業は25%の世帯が購入しておらず、窓口を広げるなど対策をすべきである。

◎生理の貧困対策事業 **225万円**

- 内容
- ・さまざまな事情で生理用品が準備できない女性を支援
 - ・市役所、公民館、避難所、小・中学校などへ設置



議員間討議

- ・事業を行うことで貧困等の現状が見えてくるのではないか。
- ・海外でも取り組まれている政策であり、深く広い事業にすべきである。

◎事業継続支援金(第5弾) **6918万円**

- 内容
- ・8月、9月の売上が前年同月、前々年同月と比べて20%以上減少している事業所に一律10万円支給
 - ・飲食店等と取引のある事業者へ一律10万円加算



コロナ以外の主な補正予算

◎6次産業促進事業 **126万円**

- 内容
- ・生産県内1位のはだか麦で地域を活性化
 - ・商品開発や販路開拓を支援



議員間討議

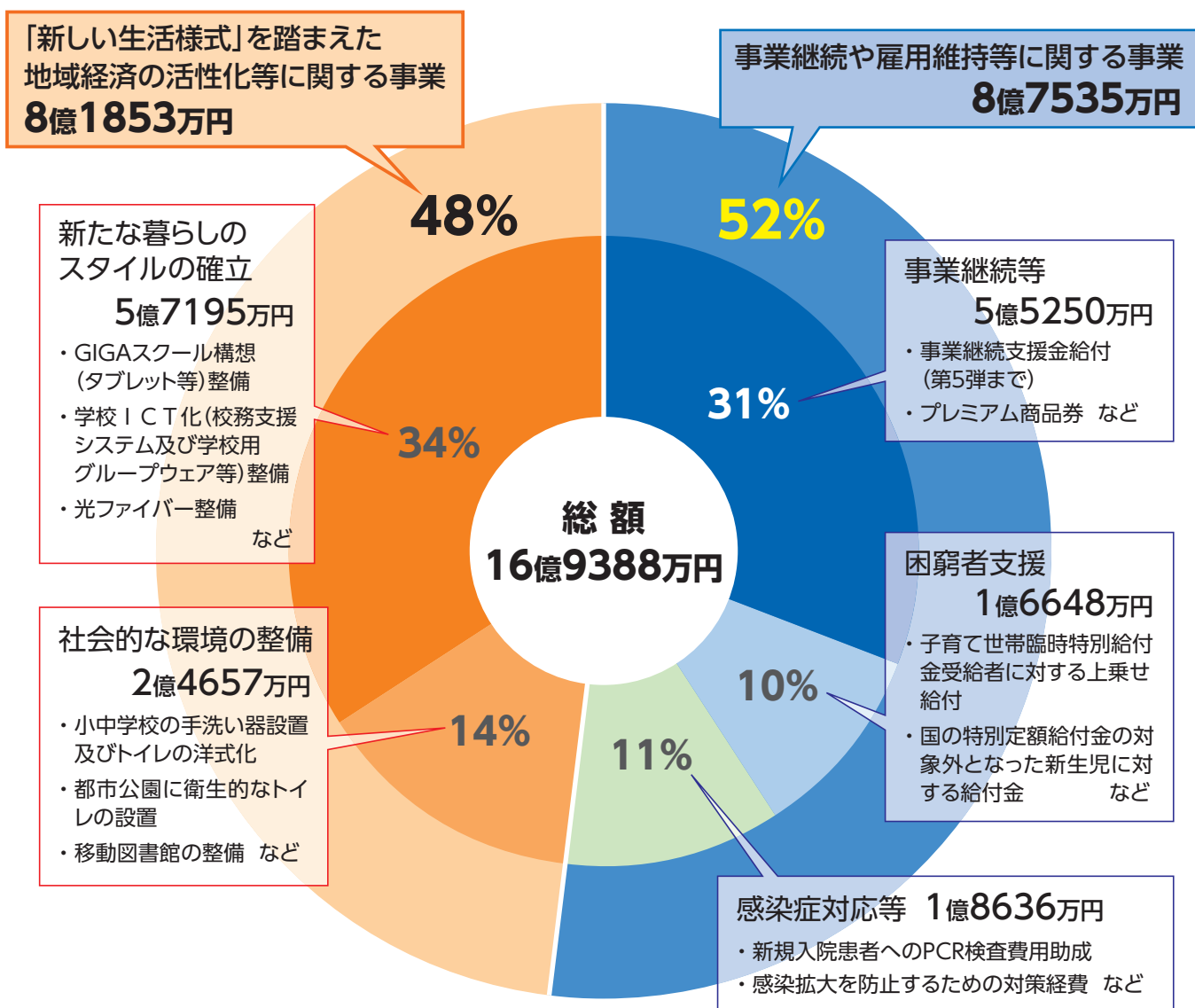
- ・商工会等ノウハウを持っている者と連携する必要がある。
- ・はだか麦を使用した商品開発は評価できる。手土産に利用するなど応援したい。

議会はこう考え、

『コロナ対策費』って、どんなものに使ったの？ ～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の内訳～

国は、令和2年度第1次補正予算以降、4兆5000億円の地方創生臨時交付金を確保し、各地方公共団体に配分しました。

始良市は総額16億9388万円の交付を受け、必要な事業や支援等を検討し、執行しました。どのような支援事業に配分したのか、グラフにしてみました。



様々な支援が行われています。なかでも学校GIGAスクール構想や学校ICT化、光ファイバーの整備事業など、子どもたちの新たな学校生活環境の整備を行っており、児童生徒が多い市の予算配分となっていることがわかります。

財産

予定価格2000万円以上の不動産・動産の買入れ・売却について、「契約及び財産の取得又は処分に関する条例」に議会の議決が必要との定めがあります。

財産の取得

災害対応特殊救急自動車を購入

災害対応特殊救急自動車は、始良分遣所に配備されます。市内だけでなく、国から出動の要請や指示があった場合には、全国各地に出動することもあります。熊本地震の際にも現地へ派遣されました。

取得金額 2853万9534円

契約の相手 鹿児島トヨタ自動車株式会社始良店



財産の処分

須崎地区公共用地を売却

須崎地区公共用地32380㎡
(9795坪)を企業誘致のために
処分します。

今回の売却で、須崎地区公共用地
はすべてが処分されます。

処分価格

5億8445万9000円

処分の相手方

プリントネット株式会社

代表取締役 小田原 洋一



人事

人権擁護委員の推薦



内田 昭子氏 (再任)

人権擁護委員の候補者と
して推薦することに同意し
ました。

9月定例会 ではこんなことが決まりました



●提案された案件

: 全員賛成

: 賛成多数

議案番号	件名	結果
議案第58号	専決処分について承認を求める件 (令和3年度始良市一般会計補正予算(第5号))	承認
議案第59号	専決処分について承認を求める件 (令和3年度始良市一般会計補正予算(第6号))	承認
議案第60号	財産の取得に関する件	可決
議案第61号	財産の処分に関する件	可決
議案第62号	令和3年度始良市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
議案第63号	令和3年度始良市介護保険特別会計保険事業勘定補正予算(第1号)	原案可決
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求める件	適任
議案第64号	令和2年度始良市一般会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第65号	令和2年度始良市国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第66号	令和2年度始良市国民健康保険特別会計施設勘定歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第67号	令和2年度始良市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第68号	令和2年度始良市介護保険特別会計保険事業勘定歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第69号	令和2年度始良市介護保険特別会計介護サービス事業勘定歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第70号	令和2年度始良市農林業労働者災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第71号	令和2年度始良市水道事業会計決算認定について	継続審査
議案第72号	令和2年度始良市下水道事業会計決算認定について	継続審査
議案第73号	令和3年度始良市一般会計補正予算(第8号)	原案可決
発議第3号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充をはかるための2022年度政府予算に係る意見書	原案可決
発議第4号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方税財源の充実を求める意見書	原案可決
陳情第2号	貴議会での「川内原発20年運転期間延長」に伴う課題の調査・研究、議論などを求める陳情書	継続審査

議員ごとの賛否については、始良市議会のホームページをご覧ください。





一般質問

市民目線で12人が市政を質す

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。掲載内容は、各議員本人が質問と答弁を要約したものです。



二次元バーコードをスマートフォンのQRコードリーダーで読み取ることで、一般質問の録画中継がご覧いただけます。



議会と語る会

「保育所民営化」と「子ども館建設」

広聴班では、7月開催した第14回「議会と語る会」（4会場）において出された意見や要望を執行部に伝え、今後の行政運営に生かされるよう、9月15日、関係部課との意見交換会を実施しました。

保育所民営化については、保護者全員への説明会が行われていないところもあり、情報が不足しているとの意見や園の運営に対する不安など出された内容を伝え、引き続き各園の運営会社としっかり協議対応するよう要請しました。

子ども館建設については、館の運営に関する意見や要望が多く出されていましたが、今後幅広く検討していくとの説明がありました。



陳情

「川内原発20年運転期間延長」に伴う課題の調査・研究、議論などを求める陳情書



総務常任委員会で審査した結果、継続審査としました。

審査の一環として、川内原子力発電所の現地調査を行いました。

新庁舎

新庁舎建設とまちづくり等調査特別委員会



10月8日に特別委員会を開き、庁舎建設課より以下の説明を受け、質疑を行いました。

- 複合新庁舎建設全体スケジュール
- 加治木・蒲生新庁舎に関する市民ワークショップ
- 始良市役所本庁舎新築工事に伴う公告

街路計画

帖佐駅三拾町線の整備予定は

市長 広域的整備が必要



吉村 賢一
市民くらぶ



問 帖佐駅三拾町線は（米山交差点を突き抜け山田口手前まで）いつ頃、整備に取り掛かるか。

答 同一路線で弥勒の交差点もあり、広域的整備が必要と考えている。

問 主要な街路計画はどのようになっているか。加工通線の整備の予定はあるか。

答 費用的にも現在のところ考えていない。全体的に町の状況の移りかわりによって事業に取り掛かる判断をする。

問 始良市の魅力は住みやすい環境、訪れる人を温かく迎え入れるまち、ではないか。

答 第2次総合計画に基づき、市の大きな可能性を伸ばし続けていくため各種施策に取り組む。

まずは、子育て世代の拠点となる全天候型子ども館の整備を進めている。また帖佐駅前広場は乗り継ぎの利便性を高めると共に若者が気軽に「街あるき」が出来るよう賑わいをもたらす場として県と連携して進めている。



朝夕混雑する米山交差点(突き当りをまっすぐ抜ける道路計画)



国生 卓
志成会



安全確保
危険な通学路の対策を急げ
市長 関係機関の担当者間で協議を進めている

問 始良市内38か所の通学路における危険な場所の具体的な取り組み内容を問う。

答 児童生徒が横断する箇所にストップマークの表示や危険箇所を知らせる赤旗の設置、雑草等で見通しの悪い箇所の除去を行っている。



県道伊集院蒲生溝辺線と市道町通線の交差点

始良本庁舎建設に伴う支所の再編

問 本庁方式により支所の組織機構が縮小されるが窓口業務内容を問う。

答 市民の利便性を考慮し、市民に開かれた身近な施設を目指すと共に行政サービスの更なる向上を主眼とし、今後、検討を重ねていく。

土地の取得

経緯とすみわけ

市長 基金や公社を活用



和田 里志
市政クラブ始輝



問 公共用に供する土地や公共の利益のために取得する土地の取得は、どのような経緯で行っているか。

答 用地を取り巻く状況や緊急性、補助事業の見込みなどを勘案して土地開発基金を用いて取得したり、企業誘致など大規模な公共事業の実施に際しては、土地開発公社による先行取得を行う場合もある。

問 地価の継続的な下落傾向など先行取得の意義が薄れ、土地開発公社の解散や土地開発基金の廃止を行っている自治体もある。本市の考え方を問う。

答 あらかじめ積み立てた土地開発基金を資金として、迅速に用地を買収することができるなど、事業の効率化や補助事業の活用などによる財政上の利点もあることから廃止については考えていない。開発公社については理事会等で検討されていくものと認識している。



プールが離れた所にあり、購入してもよいと思われる隣接地

その他の質問

- 入札制度のあり方と過去の入札状況

高齢者

スマートフォン教室

市長 実施を研究する



竹下 日出志

公明党始良市議団



問 誰もが、恩恵を受けるデジタル社会の実現に向け、高齢者にスマートフォンの利用方法やオンライン手続きを丁寧に教える「スマートフォン教室」を実施できないか。

答 スマートフォンの基本操作からマイナンバーカードの申請方法などを学ぶ講習会を、イオンタウン始良で開催している。

行政サービスの利便性を向上させるため、スマートフォン教室の実施を研究する。



丁寧に教えてくれるスマートフォン教室

公共交通の不便解消

問 公共交通の「移動不便」解消に向けて、目的地まで送迎するデマンド(予約)型の乗合タクシーや利用者の要望に対応する路線バスの拡充を考えないか。

答 新たな地区への予約型乗合タクシーの導入は、コミュニティバスの利用状況を含め、調査する。

新たな路線バスの運行は、今後も市民のニーズの把握に努め、利用しやすい公共交通網の形成について引き続き調査・研究していく。

その他の質問

- 児童通学路



岩下 陽太郎

市政クラブ始輝



自殺が起きたときの 対応・対策

中小学校
教育長

きめ細やかな対応をする

問 他市で生徒の自殺があり、初期対応などに問題があったと報告がなされた。本市で児童生徒の自殺が起きたときの対応・対策等を示せ。

答 緊急時の対応・対策等については、状況の把握、遺族へのかかわり、情報収集と正確で一貫した情報発信、保護者との共通理解、子どもたちの心のケアに全力で取り組み、教育活動の速やかな再スタートが行えるよう、きめ細やかな対応をしていく。

文部科学大臣が発信した小学生向けの文書



問 新しい生活様式や多様な学習活動に対応する設備環境の整備などを含め、令和時代の学校設備のスタンダードを示せ。

答 市は、様々な補助金を活用し、整備に努めている。今後、建築後50年を経過する校舎が多いため、大規模改修、建替等を計画する中で、照明のLED化、トイレの乾式化、少人数指導体制への対応、バリアフリー化、給食施設のドライシステム化等について整備を進めていく。

その他の質問

- 子どもたちを中心とした男女共同参画の推進

永原の市倉庫

NPO団体等に管理運営を任せては

市長 貸付や譲渡など検討



堂森 忠夫

志成会



問 永原校区入口の市倉庫は、屋根面腐食で落下寸前だ。修復してNPO団体等の活動拠点に管理運営を任せてはどうか。

答 倉庫という位置付けから、その管理を委託する考えはないが、現在進める各庁舎の建設後に、倉庫としての活用方針を見極めた上で、貸付や譲渡なども含めて検討する。



永原の市倉庫は屋根腐食の状態

くすの湯を白湯へ

問 くすの湯は源泉が原因の故障が多い。合併後の設備や修繕費用等の投資額は幾らか。現状の運営は、後世に負の遺産を継ぐことになるので、温泉を白湯にし、周辺に研修宿泊所を設置し環境と施設をいかせないか。

答 平成30年9月にあらたな源泉に1億7千万円、改修に1億9千万円、木質バイオボイラーに5千万円、改修後の温泉ポンプ故障費に1900万円投資した。今後のくすの湯について協議するために庁内検討委員会を検討中である。

異常気象

災害時避難の課題

市長 新ハザードマップを作成



湯之原 一郎
市政クラブ始輝

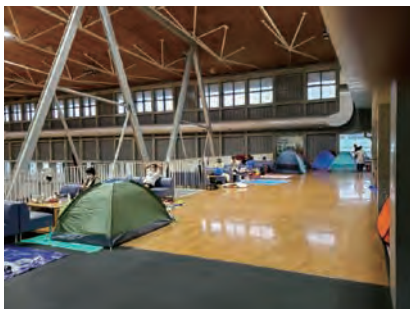


問 異常気象と言われていた事象が、近年頻発するようになってきた。

災害時避難の市民への意識付けに課題はないか。

答 逃げ遅れによる被災者をなくすために、避難勧告と指示の一本化が図られた。状況に応じた迅速な避難行動が、災害から身を守ることを認識していただくために様々な情報発信に努めている。

新たに見直された土砂災害警戒区域を含めたハザードマップを作成中であり、本年度中に全世帯に配布し、活用方法についての説明会を行う予定である。



パーテーションで安全確保を図る避難所

問 夏季の猛暑による熱中症対策について、高齢者・弱者対応を問う。

答 介護予防教室や乳幼児教室などで、室温調節や水分補給など熱中症対策について情報提供をしている。

今年度はコロナ禍の熱中症予防について、換気やマスク装着についても広報している。



小山田 邦弘



市長 予防も含めた対策が必要

さらなる運用を図れ

動物愛護条例

問 「人と動物との調和のとれた共生に関する条例」の今後の運用について考え方を示せ。

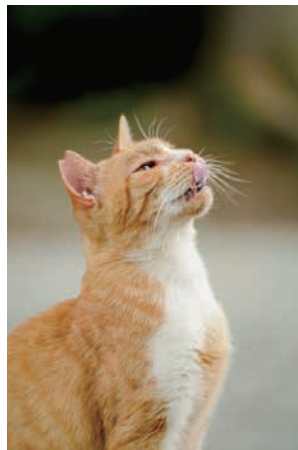
答 条例の基本理念にのっとり、市と市民及び飼い主の責務を明らかにすることにより、人と動物との関わりから生じる諸問題に対して予防等を含めた対策が必要であると認識している。

今後も条例の定める市や飼い主の責務や遵守事項について周知を図ることが重要だと認識している。

条例制定前より犬・猫に関する情報が多く寄せられるようになり、今後も保健所、動物愛護センター等と連携していく。

ペットの同行避難について、避難訓練等でペット避難を訓練項目に取り入れるなど飼い主への周知を図っているが、大型犬の受入れや対象避難所の増設を望む声もあり、今後、調査・研究していく。

公益財団法人どうぶつ基金活用の相談は生活環境課まで



その他の質問

●コンパクトシティ構想

制服

中学校女子生徒にスラックスの導入

教育長 現段階で検討はない



新福 愛子
公明党始良市議員



問 防寒・防犯対策や機能性、多様な生き方を受け入れるため、女子生徒にスカートとスラックスを選択できるようにする学校が増えている。

本市での、スラックス導入に対する考えを問う。

答 現段階で制服見直しの検討を進めている学校はない。

仮に見直しを行う場合、保護者の経済的負担の考慮、合理性や機能性、性的少数者への配慮等、十分に検討を重ねて決定していくよう指導していく。

待望されるスラックス導入(福岡市教育委員会からの提供)



親子手帳

問 父親の親としての成長や育児・子育てへの参画を促すために、母子手帳の表記に「親子手帳」の併記を検討できないか。

答 父親の育児参加を促すために、「母子健康手帳」には、両親からのメッセージを記載する欄もある。

名称の変更については、今後の厚生労働省の検討会の結果等を注視していく。

生理の貧困

学校のトイレに
生理用品を

市長 保健室で配布



堀 広子



問 女性活躍・男女共同参画の重点方針に「生理の貧困」が盛り込まれている。

コロナ対策の一環とされているが、一時的な取り組みにならないか。

答 継続性のある取り組みについて先進事例を参考に研究していく。

問 小中学校での生理用品の配布は、プライバシーや尊厳が保障されるよう学校のトイレに設置すべきではないか。

答 人の体につけるので清潔に保管した物であること、必要な子どもに養護教諭から渡すことが問題のない渡し方である。

問 保健室に行きづらい生徒もいる。生徒が安心して生理用品を手に入れられるような工夫を考えているのか。

答 必要な時に保健室で配布し、子どものプライバシーや尊厳を

守りつつ対応している。これからも必要になった子どもに対応できるよう、学校の中で工夫していく。



トイレに生理用品の常設

その他の質問

- 国民健康保険税の引き下げ
- 子どもの医療費高卒まで病院窓口無料化



有川 洋美



市長 情報提供に努める

介護職員の処遇改善・労働環境改善を！

介護職員不足

問 介護職員不足が社会問題となっている。介護職員の処遇改善・労働環境改善が必須である。考えを示せ。

答 介護職員の賃金改善を目的とした処遇改善加算も拡充されてきている。また、介護ロボットやICTテクノロジー活用も推進されてきている。これらの制度活用などについて、各介護保険事業所に対し情報提供に努めていく。



みんなが安心して暮らせる始良市を！

健康チケットあいあいと
障害者等温泉保養券

問 使用拡大について、検討した結果を示せ。

答 本年4月1日から「健康チケットあいあい」の使用範囲を介護タクシーに拡大している。「障害者等温泉保養券」のバス・タクシー等への使用拡大は、現段階では考えていない。

その他の質問

- 本庁舎建設と周辺道路整備

自治会運営

支援策はあるか

市長 協議会等との連携を図る



峯下 洋

市民くらぶ



問 転入者の情報が伝わらないことなどによる自治会加入者の伸び悩みへの支援策を問う。

答 市民課窓口で自治会加入促進チラシを配布している。また、加入促進月間に市内主要施設、自治会集会施設、校区コミュニティ協議会事務所等にのぼり旗の掲揚などを行っている。

今後も自治会運営協議会や校区コミュニティ協議会と連携を図っていく。

問 自治会が負担する各種協議会負担金は、未加入者との不公平感はないか。

答 これまで防犯暴力追放協議会が実施していた自治会防犯灯LED化推進事業を市へ移行し、自治会の負担軽減を図った。

また、防犯暴力追放協議会や衛生協会の会費の減額も行われた。



自治会加入促進のためのチラシ



はた 傍から見て 聴いて

今回は、延べ63人の傍聴者がありました。ネット中継等をご覧いただいている方々も含めて、議会に関心を持っていただいていることに対し、厚く御礼申し上げます。

傍聴席から寄せられたご意見等の一部を掲載します。



議員の方の質問の内容から始良市や鹿児島市、県の現状、問題を知ることができ、学ぶことが多かった。また、市長や教育長といった方々の考えや取り組みを聞くことができ、貴重な経験になった。

対策をやっていないものはやっていないと率直な意見が聴けてよかったです。検討はしているけれども、長年の固定観念から改善がないのは、もう少し検討して改善に向かってほしいです。



これからも始良市、鹿児島県、日本がより良い方向に進んでいけることを願っています。また議員さんたちの話し合いや取り組みを実際に聞くことができ、貴重な体験ができました。

インターン活動で、議員の一般質問を傍聴して、細かい部分は理解することができなかったが、きょうの議論が今後に影響することを実感した。傍聴していた中で、議員の方々の考えに「すごいな」と感じて、自分の中で「それはこうすることがいいのではないか」と意見を持つことができ、とても貴重な経験ができた。



異常気象関連で、農水省では全国で20万ヘクタールあるといわれている水田ダムを、5年後までに倍にするという議員の質問に対して、始良市ではどのような対策をとっていくのかに関して十分な答弁が得られなかったように感じました。

8月の大雨は、鹿児島県内でも大きな災害がおきたりしたので、とても身近に感じた異常気象だ。対策として挙げられていた排水の整備、砂防施設はいい案だと思った。問題は資金だと思う。避難している住民は少ない→ハザードマップの説明はとても大事だと思う。



洪水や避難所について考える機会がほとんどなかったので、考えるいいきっかけになりました。今あるものを有効活用することや、今以上に活性化させることはどこに行っても必要なことであると考えられるので始良市をよりよい市（鹿児島県を引っ張ることのできるような）にしてほしいです!!

コロナウイルス感染拡大に伴う飲食店などへの交付金がどのように配布されているかあまり分からなかったが、今回の議会を通して知ることができて良かった。



ふるさとの誇り

蒲生メアサ杉

新庁舎の材として議論された
蒲生メアサ杉を調べてみました。

メアサ杉の歴史

正保2年(1645年)薩摩藩の国老であった島津久通が、蒲生の地が杉林に適し、川を利用した水運の便がよいことから殖産興業に力を尽くし、造林事業の発達に至った。

メアサ杉の特徴

材はサーモンピンクの光沢の美しさがあり、成長が遅い分年輪が詰り強靱である。日本家屋の表座敷などで化粧材(柱やなげし、天井材など)に使われていたが、建築様式の変化とともに、需要が減少し、植栽も少なくなっている。蒲生八幡神社や楠田神社に樹齢数百年の古木が残っている。



メアサ杉の森(楠田神社)



蒲生木材流通センターに並ぶメアサ杉



美しいメアサ杉の内装が施された
始良斎場「悠久の森」



楠田神社

傍聴席へどうぞ

車いす席もあります

**令和3年 第4回定例会は
11月26日(金) 開会予定**

お詫びと訂正

前号 NO.43号, P8の湯川議員の賛否表
 【誤】(議案 55号)【×】
 【正】(〃)【〇】
 P10 国生卓議員一般質問写真タイトル
 【誤】[林道柵野宇都線]
 【正】[林道柵野線]
 お詫びして訂正させていただきます。

編集後記

今号では、インタビュー記事を掲載しました。住みよい始良市のために活躍される市民の声や笑顔を、今後も紹介して参ります。ワクチン接種も進み、九月末には緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が全都道府県で解除されましたが、これからの本場の勝負だと感じています。今年もあと一か月。自分のために大切な人のために、引き続き感染対策を継続していきたいものです。

田口 幸一

編集・発行責任者

議長 東馬場 弘

広報広聴特別委員会

(広報班)

委員長 和里 志
 副委員長 有川 洋美
 委員 新福 愛子
 竹下 日出志
 峯下 洋
 田口 幸一
 湯之原 一郎
 鈴木 俊二
 岩下 陽太郎
 松元 卓也
 萩原 哲郎